

仙台高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	英語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0156			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	生産システムデザイン工学専攻			対象学年	専2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	Science Communication in English, Reading Gym						
担当教員	岡崎 久美子						
到達目標							
英語の運用能力をつけることを目標として、英語の速読やプレゼンテーションを含む総合読解演習を行う。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		英文を読んで概要を把握し、それに対する自分の意見を述べることができる。		英文を読んで概要を把握し、それを述べることができる。		英文を読んで概要を把握し、それを述べることができない。	
学科の到達目標項目との関係							
JABEE C2 国際的に通用するコミュニケーション基礎能力							
教育方法等							
概要		英語の運用能力をつけることを目標として、英語の速読やプレゼンテーションを含む総合読解演習を行う。					
授業の進め方・方法		毎回速読の演習を行う。グループや個人でプレゼンテーションを行う。事前学習（予習）として、授業で学ぶ内容を整理しておくこと。事後学習として、授業で学んだことを振り返ること。					
注意点		本科目は準学士課程の英語科目と外国語IVA・VA、および専攻科課程の英語Ⅱと関連する科目である。辞書を活用し、予習をして授業に臨むこと。授業以外でもe-ラーニングシステム等を利用し、継続して英語のトレーニングを行うこと。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	授業グループの選択・ガイダンス		学習の進め方が理解できる。		
		2週	Scientific Insight into Colors, 速読1		英文を読んで概要を把握することができる。		
		3週	Scientific Insight into Colors, 速読2		英文を読んで概要を把握することができる。		
		4週	Science Communication Activity, 速読3		英文を読んで概要を把握することができる。		
		5週	Science Communication Activity, 速読4		英文を読んで概要を把握することができる。		
		6週	The Hope of and Anxiety over Robots and Automation, 速読5		英文を読んで概要を把握することができる。		
		7週	The Hope of and Anxiety over Robots and Automation, 速読6		英文を読んで概要を把握することができる。		
		8週	Water Crisis, 速読7		英文を読んで概要を把握することができる。		
	2ndQ	9週	Water Crisis, 速読8		英文を読んで概要を把握することができる。		
		10週	英語プレゼンテーション演習、速読9		英文の概要等を説明することができる。		
		11週	英語プレゼンテーション演習、速読10		英文の概要等を説明することができる。		
		12週	英語プレゼンテーション演習、速読11		英文の概要等を説明することができる。		
		13週	英語プレゼンテーション演習、速読12		英文の概要等を説明することができる。		
		14週	英語プレゼンテーション演習、速読13		英文の概要等を説明することができる。		
		15週	前期末試験				
		16週	前期末試験の復習		前期末試験の内容を振り返る。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3		
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3		
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4		
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4		
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	20	0	0	0	0	80
専門的能力	20	0	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0